

内閣府青年国際交流事業報告書2021

令和3年度

「東南アジア青年の船」青年会議



内閣府青年国際交流事業報告書2021

令和3年度 「東南アジア青年の船」青年会議



序

内閣府では、日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の友好と理解を促進するとともに、青年の国際的視野を広げ、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として各種の青年国際交流事業を実施してまいりました。

その中でも、「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年(1974年)に我が国とASEAN加盟国との共同事業として発足したもので、船内や訪問国で生活を共にしながら、討論、ホームステイ、地元青年との交流等様々な活動を通じて、日本及びASEAN諸国の青年相互の友好と相互理解を深めるとともに、国際的視野を広げ、国際化が進展する社会の各分野でリーダーシップを発揮することができる青年を育成することを目的としています。

本事業は元々、参加青年が対面でディスカッションやセミナー等の研修を行うものですが、今年度はコロナ禍を巡る状況がいまだに予断を許さないことから、昨年度に引き続き、オンラインによる「東南アジア青年の船」青年会議を開催することといたしました。初めてのオンライン交流となった昨年度の経験を活かしつつ、本会議では、社会の指導的地位で活躍するファシリテーターを交えて参加青年によるディスカッションを行い、また、新たに「自由なテーマで参加青年自らが企画し議論する場」を取り入れ、「東南アジア青年の船」を疑似体験できるプログラムを計5回にわたってオンラインで開催し、日本及びASEAN10か国の青年に参加いただきました。

本会議を通じ、参加青年には世界的な社会問題について大いに議論いただいたことで、国際交流の入り口に立ったことを実感し、この先の活動につながる学びを得たことと思います。今後も、様々な形で継続した交流を行い、更なる友好を深めることにより、東南アジア地域における次世代のグローバルリーダーを担い活躍されることを願ってやみません。

内閣府としても、これまでの交流事業の経験や実績を踏まえて、今後の「東南アジア青年の船」事業の更なる充実につなげていきたいと思っております。

本報告書は、今回のオンライン交流で行った様々な活動について記録したものです。この報告書を通じ、「東南アジア青年の船」事業についての理解を深めるとともに、国際交流への関心を高め、今後の一層の御支援をいただければ幸いです。

最後に、本事業の実施に当たって御協力いただいた参加各国の政府をはじめ、関係各位に、心から御礼申し上げます。

令和4年3月
内閣府青年国際交流担当室長
黒瀬 敏文

内閣府青年国際交流事業報告書2021
令和3年度「東南アジア青年の船」青年会議

C O N T E N T S

序	3
カラーグラビア	5
第1章 事業の概要	9
1. 趣旨	9
2. 日程	9
3. 参加青年 (PY)	10
4. ファシリテーター会議	10
第2章 「東南アジア青年の船」青年会議	12
1. 日程	12
2. 内閣府特命担当大臣挨拶	13
3. 基調講演	13
第3章 ディスカッション・各グループのレポート	18
1. あらゆる人の活躍グループ	18
2. 貧困、水・食糧へのアクセスグループ	20
3. 働き方と経済成長グループ	21
4. 教育グループ	23
5. 強靱なまちづくりグループ	25
6. 健康とウェルビーインググループ	27
7. 森林環境及び生物多様性グループ	29
8. 海洋環境グループ	31
9. 持続可能なエネルギーの利用グループ	33
第4章 ピア・ラーニングセッション	36
1. ピア・ラーニングセッション概要	36
2. ピア・ラーニングセッション一覧	37
第5章 参加青年による事業評価	43
1. 事業全体	43
2. 基調講演	45
3. グループ・ディスカッション	46
4. ピア・ラーニングセッション	47
関係資料	48
1. 参加者名簿	48
2. 参加青年の構成	57